シオノギ製薬

2012年7月11日

各　　位

会社名　塩野義製薬株式会社
代表者名　代表取締役社長　手代木　功
（コード番号　4507　東証・大証第一部）
問合せ先　広報部長　高木　浩樹
TEL　（06）6202－2161

（訂正）HIVインテグレース阻害薬「ドルテグラビル」の第3相臨床試験（ドルテグラビルを用いた併用投与とアトリプラとの比較）の結果について（速報）

2012年7月11日に発表いたしました「HIVインテグレース阻害薬「ドルテグラビル」の第3相臨床試験（ドルテグラビルを用いた併用投与とアトリプラとの比較）の結果について（速報）」につきまして、一部誤りがありました。謹んでお詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。なお、訂正箇所には、下線を付しております。

【該当ページ】
1ページ、2段落

【訂正前】
SINGLE試験の主要目的は、48週目のウイルス学的抑制効果について、ドルテグラビル/アバカビル/ラミブジンのアトリプラに対する非劣性検証です。ドルテグラビル/アバカビル/ラミブジンおよびアトリプラの1日1回投与を48週間行った後のウイルス学的抑制効果（ウイルス量 50コピー/mL未満）を示した割合が、アトリプラ投与群では81%であったのに対し、ドルテグラビル併用投与群は88%という結果が得られたため、さらに、あらかじめ定めていた方法により優越性の検証を行った結果、ドルテグラビル併用投与群の優越性が示されました（オッズ比：7.4、95%信頼区間：　+2.5%　～　+12.3%、p≦0.003）。

【訂正後】
SINGLE試験の主要目的は、48週目のウイルス学的抑制効果について、ドルテグラビル/アバカビル/ラミブジンのアトリプラに対する非劣性検証です。ドルテグラビル/アバカビル/ラミブジンおよびアトリプラの1日1回投与を48週間行った後のウイルス学的抑制効果（ウイルス量 50コピー/mL未満）を示した割合が、アトリプラ投与群では81%であったのに対し、ドルテグラビル併用投与群は88%という結果が得られたため、さらに、あらかじめ定めていた方法により優越性の検証を行った結果、ドルテグラビル併用投与群の優越性が示されました（オッズ比：7.4、95%信頼区間：　+2.5%　～　+12.3%、p=0.003）。

以　上

[お問合せ先]
塩野義製薬株式会社　広報部
大阪　TEL：06-6209-7885　　FAX：06-6229-9596
東京　TEL：03-3406-8164　　FAX：03-3406-8099